

## 映像事業 6月 KAVC CINEMA

## 「ベトナムを懐う」

1995年、冬のニューヨーク。故郷へのおもいを持ち続ける祖父と故郷を知らない孫。  
二人の衝突はやがて一家の歴史の扉を開く

平素より、神戸アートビレッジセンター（KAVC）のご利用および企画運営にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。  
この度、当館にて、「ベトナムを懐（おも）う」を上映する運びとなりました。

本作品は、祖国を離れニューヨークで暮らす3世代のベトナム人たちを描いた、人気舞台の映画化作品です。長く戦争が続いたベトナムの哀しい歴史を背負いながら、異国で故郷を懐うそれぞれの想いを丁寧に描き出します。監督のグエン・クアン・ズンは、日本でも岩波ホールでかつて上映された『無人の野』（1979）のシナリオを書いた作家グエン・クアン・サンの息子で、ベトナムではアクション映画『超人X』や『輝ける日々に（「サニー」ベトナム版）』などヒットメーカーとして知られる逸材です。主演のホアイ・リンは、コメディアンであり俳優であり、MCなどもこなす超人気有名人。チー・タイもホアイ・リンと同じくベトナムのお笑い界に欠かせないコメディアンで、2人がコンビで共演している作品も多数公開されています。原題の「Da Co Hoai Lang」は戦地に赴いた夫を待つ妻の切なさを歌う曲名から。劇中でも主人公のトゥーと幼馴染のナムが、祖国を想い歌う場面も登場します。祖国を離れざるを得なかったトゥーの息子グエンも、その娘タムも、それぞれが祖国を懐（おも）う切なさが、この作品の魅力です。

つきましては、ぜひ貴社媒体にて本作品のご紹介をいただきたく、情報掲載のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

## ストーリー

舞台は1995年冬のニューヨーク。雪の中を老人ホームから抜け出てきたトゥーは、息子グエンと孫娘タムのアパートに転がり込むが、ボーイフレンドの誕生日を祝おうとしていたタムは祖父の乱入に困惑を隠せない。ベトナムの思い出を語るトゥーとアメリカ育ちのタムの溝は深まるばかりで、ついにタムの怒りが爆発。トゥーは家を飛び出す。そこへ帰ってきたグエンは故郷への哀しい思いを語り始めた。なぜグエンは祖国を捨てたのか。タムはベトナム移民である自分の知られざるルーツと家族の歴史を知ることになる。

## 当館上映期間：

2019年6月15日（土）～28日（金）

6月16日（日）トークイベント開催決定！

ゲスト：山根香代子（日本ベトナム友好協会 兵庫県連合会 理事長）

## 料金：

一般1700円、学生1400円、シニア1100円  
（かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり）

「ベトナムを懐う」 原題：Da Co Hoai Lang

（2017年 / ベトナム / 88分）

監督：グエン・クアン・ズン

出演：ホアイ・リン、チー・タイ、ほか

配給：ムービー・アクト・プロジェクト



copyright (c) M.A.P All rights reserved.

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 岡本・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。